

第35回日本作業行動学会

定時社員総会議事録

総会の招集：2025年6月6日（金曜日）

議決手続き：2025年6月12日（木曜日）から2025年6月18日（水曜日）

議決：2025年6月21日（土曜日）17時40分から18時15分

開催場所：東京都荒川区東尾久7丁目2番10号 東京都立大学 荒川キャンパス

出席理事 石井 良和、鎌田 樹寛、小林 法一、笹田 哲、鹿田 将隆、篠原 和也
谷村 厚子、本家 寿洋、南 征吾

出席社員数（委任状による者を含む）： 98名

この議決権数： 98名

議長：石井 良和

書記：川端 敦史

- | | |
|-------|----------------|
| 第一号議案 | 2024年度活動報告 |
| 第二号議案 | 2024年度決算報告 |
| 第三号議案 | 2025年度活動計画 |
| 第四号議案 | 論文表彰 |
| 第五号議案 | 人間作業モデル認定セラピスト |
| 第六号議案 | 研究助成 |
| 第七号議案 | 次年度の学術集会 |
| 第八号議案 | 2025年度予算 |

第一号議案 2024 年度活動報告

1 <社員総会>

WEB 上で、2024 年 5 月 31 日に社員総会の招集を、2024 年 6 月 6 日から 2024 年 6 月 11 日に決議の手続きを、2024 年 6 月 15 日の 17 時 10 分から現地（開催場所 岐阜県岐阜市橋本町 1 丁目 10 番 11 号 じゅうろくプラザ）で決議を行った。

2 <学術集会>

2024 年 6 月 15 日（土曜日）と同年 6 月 16 日（日曜日）に現地開催した。

3 <講演会、講習会>

一般社団法人日本人間作業モデル研究所が主催する講習会を後援した。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

15 論文の新規投稿があり、作業行動研究第 28 巻第 1 号、同第 2 号、同第 3 号、同第 4 号を発行した。毎号につき機関誌「作業行動研究」を 470 冊発刊した。

5 <会員>

現在会員数 449 名（2025 年 5 月 15 日現在）

6 <運営のための会議等>

2024 年 4 月 12 日

社員総会の招集と提案内容について審議をした。

2024 年 5 月 2 日

社員総会の議案事項について審議した。

2024 年 5 月 13 日

表彰論文、機関誌編集委員の組織体制について審議した。

2024 年 5 月 22 日

社員総会議案について審議をした。

2025 年 1 月 10 日、同年 4 月 25 日、同年 5 月 7 日、同年 5 月 27 日

人間作業モデル認定セラピストについて審議した。

7 <事務局>

会員の入退会処理、会費管理、税務管理、機関誌印刷と発送の運営実務を担当した。

→ 以上、異議なく承認された。

第二号議案 2024 年度決算

1 貸借対照表

貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,385,271	流動負債	0
現金及び預金	5,385,271	固定負債	0
固定資産	0	負債合計	0
有形固定資産	0	(純資産の部)	
無形固定資産	0	基金	0
投資その他の資産	0	利益剰余金	
		その他利益剰余金	5,385,271
		(うち当期純剰余金)	△ 133,196
		純資産合計	5,385,271
資産合計	5,385,271	負債・純資産合計	5,385,271

2 損益計算書

損益計算書 (自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
(経常損益の部)		
経常収益		
事業収益		
会費等収益	1,990,000	
学術集会参加費等収益	490,082	
受取寄付金	120,000	
	2,600,082	
財務収益		
受取利息	233	
雑収益	21,891	
	22,124	2,622,206
経常費用		
事業費用		
旅費交通費	0	
支払助成金	90,000	
諸謝金	238,263	
賃借料	402,610	
印刷製本費	1,602,323	
	2,333,196	
管理費用		
福利厚生費	0	
通信費	11,790	
交際費	0	
事務委託費	323,221	
消耗品費	6,515	
支払手数料	9,680	
	351,206	
財務費用	0	
		2,684,402
経常利益		△ 62,196
(経常外損益の部)		
経常外収益	0	0
経常外費用	0	0
税引前当期純利益		△ 62,196
法人税、住民税及び事業税	71,000	
法人税等調整額	0	71,000
当期純利益		△ 133,196

監査報告書

監事意見書

一般社団法人 日本作業行動学会
会長 石井 良和 殿

意見書作成日 2025 年 5 月 12 日
一般社団法人 日本作業行動学会

監事 岩瀬 義昭 

私は、2024年4月1日から2025年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

- 1 私は、必要と認めた監査手続きを実施して、財務諸表、領収書等を閲覧調査し、当法人の状況を正しく示しているかどうかについて監査を行いました。
- 2 監査の結果、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありませんでした。また、財務諸表、領収書等は当法人の状況を正しく示しており、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

→ 以上、異議なく承認された。

第三号議案 2025 年度活動計画

1 <社員総会>

2025 年 6 月 6 日に社員総会の招集を、2025 年 6 月 12 日から 2025 年 6 月 18 日に決議の手続きを WEB 上で行い、2025 年 6 月 21 日の 17 時 30 分から現地で決議を行う（開催場所 東京都荒川区東尾久 7 丁目 2 番 10 号 東京都立大学 荒川キャンパス）。

2 <学術集会>

第 34 回日本作業行動学会学術集会（小林法一大会長、日時：2025 年 6 月 21 日・22 日、開催場所 東京都荒川区東尾久 7 丁目 2 番 10 号 東京都立大学 荒川キャンパス）を、現地開催とする。

3 <講演会、講習会>

人間作業モデル関連研修会の開催を検討する。一般社団法人日本人間作業モデル研究所が主催する講習会を後援する。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討を行う。

「作業行動研究」に掲載となった研究で、科学研究費助成事業の助成を受けて行われた研究は、学会ホームページ上で研究論文を公開することができる。

機関誌「作業行動研究」第 29 巻第 1 号、同 2 号、同 3 号、同 4 号の発行を行う。各巻の発刊部数は 470 部とする。

5 <会員>

会員の入会を促進する。

6 <運営のための会議>

運営にあたる会議（2025 年 4 月 11 日、同年 5 月 2 日、同年 5 月 27 日）を開催する。

7 <事務局>

会の運営の実務を担当する。

→ 以上、異議なく承認された。

第四号議案 論文表彰

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。

なお、今回の表彰は、以下の通り、編集委員会の推薦を受けて、理事会で承認された。

【研究論文】

星島 彩氏・他 自宅退院する 60 代回復期リハビリテーション病棟入院患者の価値ある作業の認識過程—複線径路等史至性アプローチの分析から— 第 28 巻 第 3 号 p86-95

川端敦史氏・他 地域在住高齢者が ICT 機器操作時に感じる困難感の内容分析 第 28 巻 第 1 号 p28-36

【事例報告】

坂本勇太氏・他 クライアントと家族との信念対立に介入したことで作業適応状態が促進された事例～作業に根ざした実践 2.0 と人間作業モデルを併用して～ 第 28 巻 第 3 号 p107-115

萩原佑香氏・他 余暇活動の楽しさによって「もう一度滑りたい」と自分の意志を伝えた若年性アルツハイマー型認知症者の事例 第 28 巻 第 3 号 p96-106

→ 以上、異議なく承認された。

第五号議案 人間作業モデル認定セラピスト

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。

なお、第 35 回社員総会で認定を受ける者は以下の会員である。

- ・吉政豪也氏 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)
- ・木村浩明氏 (石和温泉病院)
- ・高橋 啓氏 (東京都リハビリテーション病院)
- ・古賀 誠氏 (昭和大学保健医療学部リハビリテーション学科)
- ・萩原佑香氏 (訪問看護ステーション向日葵)
- ・坂本勇太氏

→ 以上、異議なく承認された。

第六号議案 研究助成

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
2024 年度申請者はなかった。

→ 以上、異議なく承認された。

第七号議案 次年度の学術集会

大会長は南 征吾氏とし、兵庫医科大学リハビリテーション学部において現地開催を計画する。

→ 以上、異議なく承認された。

第八号議案 2025 年度予算

1 2025 年度予算案

2025年度（令和7年度）予算案
（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

（単位：円）

科 目	前年度決算額	当年度予算額	差 額	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
会費等収入	1,990,000	2,020,000	30,000	会員の90%の納入として算出
学術集会参加費等収入	490,082	680,000	189,918	
会費収入計	2,480,082	2,700,000	219,918	
②雑収入				
受取利息収入	233	233	0	
雑収益	21,891	22,000	109	
受取寄付金	120,000	0	-120,000	
雑収入計	142,124	22,233	-119,891	
事業活動収入合計	2,622,206	2,722,233	100,027	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
旅費交通費	0	10,000	10,000	
会場費	402,610	0	-402,610	
支払助成金	90,000	120,000	30,000	論文表彰@30,000×4名
消耗品費	0	210,000	210,000	
諸謝金	238,263	336,000	97,737	
印刷製本費	1,602,323	1,602,000	-323	
事業費支出計	2,333,196	2,278,000	-55,196	
②管理費支出				
通信費	11,790	12,000	210	
福利厚生費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
事務委託費	323,221	252,000	-71,221	
消耗品費	6,515	7,000	485	
支払手数料	9,680	10,000	320	
管理費支出計	351,206	281,000	-70,206	
事業活動支出合計	2,684,402	2,559,000	-125,402	
事業活動収支差額	-62,196	163,233	225,429	
II 法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
当期収支差額	-133,196	92,233	225,429	
前期繰越収支差額	5,518,467	5,385,271	-133,196	
次期繰越収支差額	5,385,271	5,477,504	92,233	

→ 以上、異議なく承認された。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後 18 時 15 分閉会した。

以上の通り、相違のないことを証明する。

議事録署名人：永井 貴士



議事録署名人：篠原 和也

